

シンポジウムにお申し込みをされた皆様へ

この度のシンポジウム開催を記念して、TAKAYA さんのお母様と TAKAYA さんの絵を応援して下さっている方から、100名の希望者様に TAKAYA さんの絵のカレンダーをご提供して頂きました。2022年の壁掛けカレンダー「ありさんの冒険」です。

ご希望の方は、参加料入金の際に、送料の半額250円を添えてご入金ください。少額ですが、当機構にて送料の半額を負担させていただきます。

参加者1名様につき1つのご提供とさせていただきます。希望者が多い場合は先着順とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

サンプル



イラスト：TAKAYA さん

TAKAYA さんは行動障害・重度知的障害を伴う自閉症の男性です。自傷行為や他害にご本人もお母様も周りの方も苦しんでこられました。お母様は、小さい頃から何でもいいから出来る事を増やしていこうと、必死で療育、教育支援をしてくれる場所を探し、自ら学び、実践されてきたそうです。そして、今も TAKAYA さんは、絵を描くことと水泳を続けておられます。絵を描くことも水泳も簡単にできるようになったわけではなく、また、今も全てを一人でできるわけではありません。絵は線を描くこと、丸を描くことから練習されてきたそうです。初めてお母様にお会いした時に、「問題行動だけに目を向けると苦しいことが多かったけれど、一番の解決は“できることを増やすこと”でした」と教えていただきました。

これからも、自閉症支援に本気で向き合いたい。ご本人にもご家族の方にとっても、明るい未来を信じ歩むための“支援者”でありたい。そう感じました。彼らは言葉では伝えることはできないかもしれませんが、彼らの声を聞こうとすること、彼らの想いを理解しようとする、そして彼らを信じ、一人一人の“できる”を伸ばすこと。そのことを忘れずに一人一人と向き合っていきたい。私は TAKAYA さんの絵を見るたびに、そう強く感じます。

